

番傘川柳本社

4月投句句会

締め切り……令和7年3月15日
参加者……105名
投句整理……中岡千代美
名簿作成……中岡桂子
清記……稲葉良岩

宿題 ばらまく

伊藤 良一 選

小銭ならばらまく程に貯まつてゐる 瀬戸 波紋
ばら蒔いて無肥料蕎麦は逞しい 龍田 清成
珠洲塩田復興祈る潮を撒く 細川 正章
孫六人ばらまく金ももう尽きた 栗原つや子
ばらまかれたフェイク動画に正義揺れ 替地三枝子
ばらまいた噂自分を貶める 鮎子田嘉子
飛行機のばらまくピラへ昭和つ子 藤井 裕美
少子化はばらまきだけで止まらない 井倉 和子
ばらまいた種の一つに小さい芽 塩谷 邦子
永田町ばらまくだけのマニフェスト 香川 大
花の種ばらまき荒地蘇る 蔵田 康子
不用意にうわさばらまく軽い口 青嶋由紀美
争いの火種ばらまく遺産分け 三瀬清一朗
うきうきの種ばらまいて春にする みよしすみこ
ばらまいた義理チョコでかいダイヤ釣り 田中 葵

赤ちゃんのばらまく笑顔飽きず見る 富川 章

ばらまいた地雷の罪な戦後処理 山田 順啓
稼げると嘘をばらまく特殊詐欺 山岸 峰隆
ばらまきの政策未来に残す付け 大島美智代
夜に撒き朝国産と言うあさり 田中 堂太
炎上のタネばらまく軽い指の先 山口由利子
子や孫に借りてばらまく赤字国 伊牟田洋史
デジタルがばらまく悪意消えぬま 豊田 芳香
ばらまきにやがてズシリと孫世代 稲垣 義舟
散蒔いた噂話が寝首搔く 恵利 菊江
ばらまいた笑顔でママの店栄え 西川 東岳
ばらまいたワイロじゃ買えぬ真の価値 豊田 佳子
ばらまいた噂が襲うブーメラン 能田 文夫
政策のばらまき苦い納税者 横山 順子
饅頭を撒いた挙式を懐かしむ 久崎 田甫
セールスマンあちこちに撒く飯の種 西谷 公造
幸せの種あれば蒔きたい世界中 高瀬 秀子

宿題 そっけない

鈴木 栄子 選

ばらまくのはお金じゃなくて笑顔だけ 黒田るみ子
心配をばらまく老いの免許証 田中五十鈴
ばらまいた名刺商戦への一步 村田 繁一
ばらまいた恥を回収して生きる 山岸 洋美
ばらまけるものは私の笑顔だけ 和泉富美子
幸せの種をばらまく子育て期 住田 照水
ばらまいた種は律儀に芽で答え 小代千代子
バラまいた愛想笑いも生きる武器 伊藤 良一
そっけない返事に意気を挫かれる 水戸 二七
そっけない態度の裏にある熱意 香川 保子
そっけない返事にいつも気を持たす 西澤 司郎
そっけない素振りハートは燃えている 碓氷 祥昭
ロボットは素っ気ないけど確かな目 龍田 清成
エリートはツンと上向きそっけない 南 高志
老化だと医者診立てがそっけない 西川 東岳
父の腕信用あるが不愛想 山内 悦次
そっけない人の眼差し身を焦がす 石丸美砂子
そっけなくあしらわれてもあきらめぬ 吉丸 等
そっけないけれどいいと困る夫 佐藤 后子
赤いひもたぐってみたらほめてた 高瀬 秀子
詳細はホームページとそっけない 山田 順啓
義理立ての見合いか君の生返事 戸三喜恵
立て板に水の話で締め括る 志方 智外

友達と一緒にの孫は知らんぷり
朝刊で葬儀済んだという訃報
そっけなく我が家を避ける当たりくじ
お小言のぶっきらぼうにある温み
賞状を見せずに仕舞う男の子
オーお茶自分で入れて後は無視
たいたいまぐらい言いなさい孫反抗期
長メールへああ元氣やと子の返事
失恋の慰めいらんほっといて
リアクション期待したのに空まわり
ごめんあそばせ付度はやめました
本山の納骨十把一絡げ
一言がグサリと刺さり無視をする
そっけない態度に変わる解約日
親娘です何の愛想いるもんか
コネの無い頼み冷たく断られ
そっけなくされても思慕は絶ち難い
愛想無い態度で返す倦怠期
おいシロー呼んでも猫は大あくび
ありがと一の一言欲しいセルフレジ
くすぐってみても笑わぬ君子蘭
知りませんわかりませんとにべもない
よその子に注意する人いなくなる
けんかしたらしい一切口きかぬ
茶封筒とはつれないねラブレター

細川 正章
羽生 悦郎

宿題 顔

池田 武彦 選

ともかくも笑顔ピンチを切り抜ける
良く喋る何か良いことあった顔
丸顔は老いた今でも変わらない
妻の描く似顔絵髪がふっさふさ
前向いてまだ期待する明日の顔
ひょっこりと顔出す亀に和む春
亡母顔いつも笑顔の如来像
顔上げる座席占領するスマホ
泣く顔を見せずこっそり昭和歌
神様も努力せぬ子に知らぬ顔
美人より丈夫な嫁で有り難い
敵しい世七つの顔で世を渡る
楽しかった笑みで閉じたい別れ花
顔じゃない男は度胸いや金よ
子の寝顔ネクタイ外す前に見て
顔に朱が戻り術後を笑わせる
朝の顔今日も生きよと云う鏡

若山 宗彦
富川 章
諸富 幹夫
稲垣 義舟
藤井 裕美
角野 かし
羽生 悦郎
田中きみ子
松岡登代子
西川 東岳
村上 哲子
南 高志
入江 晴菜
森島アツ梗
佐藤 后子
瀬戸 波紋
小代千代子

宿題 追

う 松本 柊子 選

顔上げて生きるよ決めた陽が昇る
いい顔だ一生語る笑いジワ
赤ちゃんの百面相に時忘れ
夕焼けを顔に映して子が戻る
染みと皺たるみは生きてきた誇り
好い顔をしてるぞ今日は本気だな
顔見知りばかりの街でまだ暮らす
名を忘れ顔も忘れた備忘録
顔から火が出た失敗は忘れない
見覚えの顔だ名前が出てこない
お人好し母そっくりのだんご鼻
素っぴんを笑顔良しだと褒められた
太陽のような笑顔に友集う
やっと今経験積んだ顔になる
連れ添えば顔見て分かる胸の内
スイッチオン顔付き変わるキリッ
ひと仕事終えいい顔の仲間達
二千万貯めているぞという顔だ
ふるりのこけし素朴な目鼻立ち
男の顔まさに履歴書古稀の会
娘を見る妻には見えぬ甘い顔
生き方が姿勢に最後顔にでる
見覚えのある顔前にして悩み

みよしすみこ
島田千代子
西谷 公造
細川 正章
竹明なおみ
確永 祥昭
山岸 洋美
山田 順啓
土居 直子
武藤 伶子
池本 ゆき
栗原つや子
鈴木さゑ子
塩谷 邦子
阿部 俊八
豊田 佳子
中武 弓
常國 喜好
田中五十鈴
穴戸三喜恵
藏田 康子
鈴木かつえ
石谷 恵子

あと二キロ離されまいと食らいつく
追っかけは卒業したと言う卒寿
追い焚きの湯船で今日のひとくぎり
夕焼けを追って歩いた日の記憶
追うつもり無いので亀はマイペース
歎持てば亡母の姿を追っている

嶋 喜八郎
小林 祥司
藤井 裕美
香川 保子
浜野みさえ
田中きみ子

新聞の文字をルーペで追っている
夢希望追えば追う程遠くなる
後悔が私をいつも追いかける
追い打ちをかける最後の物価高
スケジュールに追われた頃が懐かしい
おっぱいを啜えて赤子夢を追う
まだ傘寿ロマン追っかけ日日過ごす
風追えば桜吹雪に行き逢える
一途に追う愛という名の影法師
探し物今日の行動追ってみる
追いかけた頃が華です若さです
流行を追わないおしゃれ丁度良い
追えば追うほど逃げていく青い鳥
大切な本音はいつも追伸で
正直な父の背中を追いかける
小走りで追いかけてくる余命表
明日を追うばかりじゃ今を楽しめぬ
真実を追求める目曇らせぬ
目標があるから若さ今も尚
回復のリズムで追った七分粥
青春の復刻版を追うシネマ
青春の微熱を追ってクラス会
戻れなくなるかも知れぬ虹を追う
夢を追いかける巣立つ輝く瞳
新緑に宿る生命力を追う

北川 周興
大島美智代
橘 和美
佐藤 后子
能田 文夫
西川 東岳
諸富 幹夫
安西 廣恭
中谷 栄子
山岸 洋美
若山 宗彦
和泉富美子
鮎子田嘉子
山口由利子
住田 照水
弘津 明子
常國 喜好
豊田 佳子
植野 繁子
村上 哲子
鈴木さゑ子
替地三枝子
みよしすみこ
神内 澄子
中武 弓

故郷を追われ流浪のガザの民
木簡の文字の謎追う考古学
做っては父の背中を追うている
追い風のやさしい無口を信じよう
シャボン玉追う子らの目に小宇宙
母の記憶追えばやっぱり握り飯
すばるが好き青い吐息を追いかける
カメラ手にアサギマダラを追う旅路
ライバルは追って追われて真の友

宿題 目立つ 中岡千代美 選

壇上の華ある披露白椿
菜の花を抑え目立っている電車
我が家にも目立ち始めた戸の軋み
戎橋あの看板が良く目立つ
群れの中目立ちたがりが列乱す
選手より目立つ監督いるチーム
甲子園縦じまの中オレレンジが
大声の応援目立つ補欠の子
年毎に目立つ衰え道連れに
大慌て授かり婚の披露宴
湯巡りの誘い断る手術痕
あなただと分かる渋谷の交差点
早く咲き早く切られる花一輪
何処に居ても目立つお方の裾さばき

栗原つや子
久崎 田甫
福本 清美
小代千代子
桑野まりこ
稲垣 義舟
黒田るみ子
志方 智外
富川 章
入江 晴菜
香川 保子
西陣 五朗
藤井満洲夫
豊田 佳子
稲垣 義舟
村田 賢爾
替地三枝子
井倉 和子
住田 照水
みよしすみこ
竹明なおみ
富川 章
中谷 栄子

あの人に目立つようにと赤を着る
あしらいのバラが人気を独り占め
柗席の着物美人がよく目立つ
カレーどん美味しかったシャツの染み
もう来たか近頃目立つ物忘れ
目立つよう書いてご利益もらう絵馬
それでいい目立たぬようにこっそりと
潮時と言っているのか目立つミス
他所者とすぐ気付かれるアクセント
年度末工事現場が活気付く
華やいだ女が一人予約席
誤字脱字目立つが思いわかります
目立つより裏方が好き性に合う
もう目立つお腹を庇う母の顔
不器用が目立つ結び目冬囲い
マスク取るのはとするよな目立つ顔
あの人がやっぱり目立つ恋心
目立つ奴陽の当たる場所知っている
指し色に真つ赤なバッグ明日をゆく
派手やろかちょっと目立ちたい私
マドンナより目立つてごめんクラス会
中継はやはり美人を映している
文庫本読む少年がいる電車
目立つから少し離れてついて行く
それでいい充分目立っていますから

北川 周興
楠山東石子
山岸 峰隆
西谷 公造
栗原つや子
小林 祥司
橘 和美
浜野みさえ
和泉富美子
瀬戸 波紋
小林すみれ
山岸 洋美
高瀬 秀子
香川 大
弘津 明子
桑野まりこ
若山 宗彦
角野たかし
田中きみ子
植野 繁子
黒田るみ子
安西 廣恭
福本 清美
戸田 清孝
吉丸 等

片隅に咲いて目立っているあなた 藏田 康子

宿題 春だから 片岡 加代 選

ばあちゃんもバステルカラー春だから
春だから八十路にだって化粧筆
マネキンもバステルカラー春兆す
新一年地蔵にべこり通学路
春が来た育ててくれた島を去る
冬物のバーゲン買いにいそぎ足
山茶花と梅の香愛でるスニーカー
春眠のこぼれ話で座がなごむ
サクサクするりフキノトウの天ぶら
逆縁の子に春ですよ草団子
桜見に母を連れ出す日を選ぶ
最後かもと足と相談する旅路
春だからとはいえ財布冬のまま
春がきた人と桜と缶ビール
いい酒だ心浮き立つ花の下
春だから鎧兜も脱ぎ捨てる
太陽とお話ししましょ春だから
頼りないけど腕を組みます春日和
春だから財布のヒモもちよいゆるむ
うとうとと日溜り母の車椅子
春だからついつい浮かれ千鳥足
スカーフをピンクに変えてウォーキング
替地三枝子
田中きみ子
土居 直子
穴戸三喜恵
瀬戸 波紋
田中 堂太
碓氷 祥昭
石谷 恵子
植野 繁子
橋本 恭治
中村八十八
鈴木さゑ子
龍田 清成
諸富 幹夫
久崎 田甫
香川 大
三瀬清一朗
若山 宗彦
安西 廣恭
山岸 峰隆
稲垣 義舟
中武 弓

ロマンスを求め恋猫朝帰り
街道をゆくエッセイを読む菜の花忌
一斉に野草が動く風も春
満杯のスケジュールうきうき四月
少し位浮かれていいの春だから
春だから美人狐に騙される
花ぶき浴びて何でも許せそう
口紅が濃くていいかな春だから
春だから散歩をせよと言う主治医
春だからちょっとへマしたキュービット
何となく老いの心も身も軽い
ボシエットに恋バナ詰めてティールーム
つくしタンポポもういいかいと顔を出す
ルンルンと少し頑張る上り坂
バス停に杖を忘れてきた陽気
春だから心の向きを変えました
春だからお隣さんがノックする
花粉症それでも旅に出たくなる
春だから魔女もすっかり気を許す
大笑いしながら伸びてくる土筆
春だから焼けばっ杭に火がついた
心平のカエルケルン春うたう
春だからちょっとそこまで花を見に

小林すみれ
田中五十鈴
柴本ばっは
池本 ゆき
戸田 清孝
南 高志
山口由利子
島田千代子
小林 祥司
田中 葵
阿部 俊八
鮎子田嘉子
青嶋由紀美
竹明なおみ
西陣 五朗
小代千代子
大岩 郁夫
藤井満洲夫
茶谷 好太
常國 喜好
栗原つや子
豊田 佳子
山田 順啓